



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 35,282 | 9.6 | 5,021 | 1.0 | 5,465 | △0.3 | 3,206 | △0.8 |
| 27年3月期第1四半期 | 32,206 | △0.6 | 4,969 | △8.0 | 5,481 | △5.2 | 3,233 | △1.3 |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 3,731百万円 (7.3%) 27年3月期第1四半期 3,476百万円 (17.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 55.33 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 55.58 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 177,532 | 110,235 | 61.4 |
| 27年3月期 | 180,312 | 110,264 | 60.5 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 109,012百万円 27年3月期 109,049百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 50.00 | — | 50.00 | 100.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 50.00 | — | 50.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 70,100 | 7.8 | 9,800 | 1.2 | 10,800 | 0.1 | 6,500 | 0.1 | 112.42 |
| 通期 | 142,500 | 7.1 | 20,700 | 8.7 | 22,500 | 6.7 | 13,300 | △2.6 | 230.03 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期1Q | 58,025,000株 | 27年3月期 | 58,025,000株 |
| 28年3月期1Q | 207,609株 | 27年3月期 | 2,879株 |
| 28年3月期1Q | 57,958,289株 | 27年3月期1Q | 58,166,196株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (2) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国経済は、円安・株高傾向を背景に、企業収益や雇用環境の改善に加え、訪日外国人の増加が消費回復を後押しするなど、景気は緩やかに回復基調で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場は依然として漸減傾向で推移するものの、カラオケボックス市場では、大手事業者の積極出店により緩やかながら増加傾向が継続しております。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大もあり、市場全体のカラオケ稼働台数は僅かながら増加傾向で推移しております。

この様ななか、各事業におきましては諸施策を実施した結果、当第1四半期の業績は、売上高は35,282百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は5,021百万円(同1.0%増)、経常利益は5,465百万円(同0.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,206百万円(同0.8%減)となりました。

(百万円)

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 対前期増減 | 増減率 |
|------------------|--------|--------|-------|-------|
| 売上高 | 32,206 | 35,282 | 3,076 | 9.6% |
| 営業利益 | 4,969 | 5,021 | 51 | 1.0% |
| 経常利益 | 5,481 | 5,465 | △16 | △0.3% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,233 | 3,206 | △26 | △0.8% |

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、安定的な収益基盤の強化を目指し、機器賃貸の出荷比重を高めるなか、DAM稼働台数の増加を推進しております。4月に発売したフラッグシップ新商品「LIVE DAM STADIUM」が想定を上回る受注により、市場投入は好調に推移いたしました。様々な映像による空間演出を可能とする、業界初のデュアルモニター機能とライブの迫力と臨場感を再現する「ライブサウンド」を搭載したことで、市場から高い評価を得ております。

また、成長分野として注力しているエルダー市場についても、稼働台数が堅調に増加いたしました。

以上の結果、新商品の発売により販売が好調に推移したことに加え、機器賃貸件数及びDAM稼働台数が順調に増加したことにより、機器賃貸収入および情報提供料収入が着実に増加し、売上高は前年同期比11.0%増加となりました。利益面におきましては、機器賃貸の先行コストが増加したものの、営業利益は前年同期比4.8%の増加となりました。

(百万円)

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 対前期増減 | 増減率 |
|------|--------|--------|-------|-------|
| 売上高 | 16,171 | 17,952 | 1,781 | 11.0% |
| 営業利益 | 3,899 | 4,088 | 188 | 4.8% |

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におけるカラオケルームにおきましては、新店開発および幅広い顧客を取り込むため、年代や地域性に合わせたブランド展開に努める一方、4月には近畿・中部地域等でチェーン展開する店舗を事業買収するなど、積極的な出店に注力いたしました。また、女子会などグループパーティーの需要を取り込むため、パーティーコースの充実とレストランルームの増設に努めました。飲食店舗におきましては、顧客満足度の向上を図るため、提供するサービスの向上を目指し、エリア別に教育店舗を設置するなど、従業員教育の強化に努めました。

以上の結果、売上高は既存店が軟調に推移したものの、前期に出店した店舗の売上寄与に加え買収した新店の寄与もあり、前年同期比9.3%増加となりましたが、営業利益は新規出店等による先行コストの増加と、入替え導入を推進した新商品「LIVE DAM STADIUM」及びのれんの償却負担増の影響もあり、前年同期比13.1%減少となりました。

(百万円)

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 対前期増減 | 増減率 |
|------|--------|--------|-------|--------|
| 売上高 | 12,372 | 13,518 | 1,145 | 9.3% |
| 営業利益 | 1,627 | 1,413 | △214 | △13.1% |

（音楽ソフト）

当事業におきましては、「水森かおり」や「三山ひろし」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「筋肉少女帯」などの作品が貢献する一方、音楽配信がやや改善の兆しが見えたものの、事業環境は依然厳しい状況で推移しています。

（百万円）

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 対前期増減 | 増減率 |
|------|--------|--------|-------|------|
| 売上高 | 2,076 | 2,082 | 6 | 0.3% |
| 営業利益 | △32 | △25 | 7 | — |

（その他）

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努めるほか、不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移いたしました。

（百万円）

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 対前期増減 | 増減率 |
|------|--------|--------|-------|-------|
| 売上高 | 1,586 | 1,729 | 143 | 9.0% |
| 営業利益 | 240 | 352 | 111 | 46.5% |

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,780百万円減少し、177,532百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が1,608百万円増加し、現金及び預金が9,063百万円及びたな卸資産が772百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、カラオケ賃貸機器が1,501百万円、土地が1,209百万円、カラオケルーム及び飲食店舗設備が1,053百万円、のれんが975百万円及び投資有価証券が703百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,751百万円減少し、67,296百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では短期借入金が614百万円増加し、未払法人税等が3,077百万円減少しております。

固定負債では、その他に含まれる長期未払金が801百万円及び長期借入金が273百万円それぞれ増加し、役員退職慰労引当金が1,293百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、110,235百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加3,206百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少2,901百万円及び自己株式の取得による減少847百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準等第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(役員退職慰労引当金)

当社は、平成27年5月18日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、平成27年6月19日開催の定時株主総会において、本総会終結後に在任する役員については、これまでの在任期間に応じた退職慰労金を各役員の退任時に支給することが承認可決されました。

これにより、当第1四半期連結会計期間において、当社の役員退職慰労引当金801百万円を全額取り崩し、固定負債のその他に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 59,747 | 50,683 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,016 | 6,580 |
| たな卸資産 | 6,933 | 6,160 |
| その他 | 6,363 | 8,169 |
| 貸倒引当金 | △139 | △131 |
| 流動資産合計 | 79,920 | 71,462 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| カラオケ賃貸機器（純額） | 9,262 | 10,764 |
| カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額） | 17,236 | 18,290 |
| 土地 | 26,339 | 27,549 |
| その他（純額） | 5,554 | 6,122 |
| 有形固定資産合計 | 58,393 | 62,727 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,235 | 2,211 |
| その他 | 6,350 | 6,101 |
| 無形固定資産合計 | 7,585 | 8,312 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 13,263 | 13,967 |
| 敷金及び保証金 | 14,392 | 14,524 |
| その他 | 6,844 | 6,624 |
| 貸倒引当金 | △87 | △85 |
| 投資その他の資産合計 | 34,413 | 35,030 |
| 固定資産合計 | 100,392 | 106,070 |
| 資産合計 | 180,312 | 177,532 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,723 | 5,150 |
| 短期借入金 | 3,949 | 4,564 |
| 未払法人税等 | 5,007 | 1,930 |
| 賞与引当金 | 1,063 | 539 |
| その他 | 12,702 | 12,500 |
| 流動負債合計 | 27,446 | 24,686 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 23,161 | 23,435 |
| 役員退職慰労引当金 | 2,426 | 1,133 |
| 退職給付に係る負債 | 4,780 | 4,896 |
| その他 | 2,233 | 3,144 |
| 固定負債合計 | 42,602 | 42,610 |
| 負債合計 | 70,048 | 67,296 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,350 | 12,350 |
| 資本剰余金 | 4,001 | 4,001 |
| 利益剰余金 | 93,439 | 93,745 |
| 自己株式 | △8 | △856 |
| 株主資本合計 | 109,782 | 109,241 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 318 | 795 |
| 土地再評価差額金 | △733 | △733 |
| 為替換算調整勘定 | 210 | 214 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △528 | △505 |
| その他の包括利益累計額合計 | △733 | △228 |
| 非支配株主持分 | 1,215 | 1,223 |
| 純資産合計 | 110,264 | 110,235 |
| 負債純資産合計 | 180,312 | 177,532 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 32,206 | 35,282 |
| 売上原価 | 18,747 | 21,539 |
| 売上総利益 | 13,459 | 13,742 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,489 | 8,721 |
| 営業利益 | 4,969 | 5,021 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 263 | 218 |
| その他 | 377 | 384 |
| 営業外収益合計 | 640 | 603 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 69 | 84 |
| その他 | 59 | 74 |
| 営業外費用合計 | 128 | 158 |
| 経常利益 | 5,481 | 5,465 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 11 | 2 |
| 投資有価証券売却益 | 36 | - |
| 特別利益合計 | 48 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 84 | 21 |
| 減損損失 | 0 | 137 |
| 特別損失合計 | 84 | 158 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,445 | 5,309 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,504 | 2,067 |
| 法人税等調整額 | △310 | 16 |
| 法人税等合計 | 2,193 | 2,083 |
| 四半期純利益 | 3,251 | 3,226 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 18 | 19 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,233 | 3,206 |

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 3,251 | 3,226 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 175 | 477 |
| 為替換算調整勘定 | 24 | 4 |
| 退職給付に係る調整額 | 24 | 23 |
| その他の包括利益合計 | 224 | 504 |
| 四半期包括利益 | 3,476 | 3,731 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,457 | 3,711 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 18 | 19 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|---|-------------|---------------|-------|--------|--------------|--------|--------------|-----------------------|
| | 業務用 カラオケ | カラオケ・ 飲食店舗 | 音楽ソフト | 計 | | | | |
| 売上高 | 16,171 | 12,372 | 2,076 | 30,619 | 1,586 | 32,206 | — | 32,206 |
| セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は営業 損失(△)) | 3,899 | 1,627 | △32 | 5,494 | 240 | 5,734 | △765 | 4,969 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△765百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|---|-------------|---------------|-------|--------|--------------|--------|--------------|-----------------------|
| | 業務用 カラオケ | カラオケ・ 飲食店舗 | 音楽ソフト | 計 | | | | |
| 売上高 | 17,952 | 13,518 | 2,082 | 33,552 | 1,729 | 35,282 | — | 35,282 |
| セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は営業 損失(△)) | 4,088 | 1,413 | △25 | 5,476 | 352 | 5,829 | △807 | 5,021 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△807百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。